

# 北海道知事 鈴木直道氏

## 北海道はポテンシャルの宝庫 デジタル技術の推進でさらなる魅力ある地域へ

20年からの新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言が21年9月で解除となり、道内の経済活動も徐々に再開する一方、第6波の襲来も不安視されるなか、常にリーダーシップを発揮してきた。

(取材・11月29日、道庁知事応接室)

### スクリーニングで早期抑制

—変異株をはじめとするこれまでのコロナ感染対策について。オミクロン株については、「懸念される変

異株」ということで最も警戒レベルの高い変異株として位置付けられました。道としても新たな変異株に対してはこれまでも海外や道外に滞在歴のある患者などは原則すべての検体を対象に道立衛生研究所でゲノム解析を行ってききましたので、オミクロン株についてもしっかりとした監視体制をとっていききたいと考えています。

北海道では、スクリーニング検査で早期の特定に努めてきました。これによって、感染力の強い変異株の場合、積極的疫学調査や幅広い検査の徹底等で早期に感染を抑えてきました。—その結果としては、第5波は全国で過去最大の感染になり、各

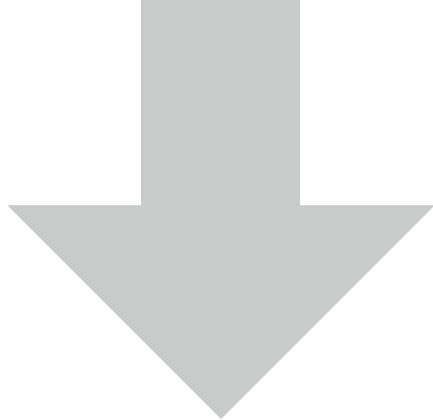
県もそれぞれ過去最多を更新した地域が多かったわけですが、北海道については結果として第4波より低い感染の波で抑えることができました。これも道民の皆様のご理解ご協力の賜物だと思っています。

また、北海道は観光など様々な形で道外からお越しになる方も多く、普段会わない方との接触機会も増えることから感染が増えるという特徴があります。これを受け、国には繰り返し話をし、北海道と沖縄県については無料のPCR検査を空港で実施する形になりました。その後各空港に拡大されましたが、こういった対策も大きかったと思います。

### 新春 2022年の ビジョン インタビュー

〈すぎき なおみち〉埼玉県出身。高校卒業後、99年4月東京都庁入庁。2004年法政大学法学部法律学科卒業（都庁に勤めながら4年間で卒業）。08年夕張市へ派遣。10年4月内閣府地域主権戦略室へ出向、夕張市行政参与。同年11月東京都庁退庁。11年4月夕張市長選に出馬、2期当選。19年2月夕張市長辞職。同年4月北海道知事選に出馬、当選。現在1期目。

〈カメラ・大島 謙〉



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)